

教科教育専攻

美術教育専修

初等教育履修分野 / 中等教育履修分野

◆ 学びのポイント

1
 自らの表現力や鑑賞力を磨き、
 子どもの表現と鑑賞力を導く
 力量を培う

学校における児童・生徒の成長・発達を捉えられるように、美術教育専修科目を核としながらも、教育学科目、心理学科目、特別支援教育科目、他教科専修科目など関連づけて学びます。



「奈良・町屋の芸術祭はならあと ぶらす」参加企画「絵の家」
 大学生のほか、附属の子どもたちや地域の方々の作品も展示されました。狩野准教授指導



絵画II 授業 人物素描



初等教科教育法(図画工作) とび出すカードを説明する宇田教授

2

子どもとふれあい、
 地域とつながる

- (1) 地元奈良の伝統文化や文化遺産に刺激を受けながら、自らの造形的な力量形成を行い、子どもの造形的な力(表現力、鑑賞力)を育成するための内容と方法を学びます。
- (2) 教育実習、大学祭での活動「造形ひろば」、スクールサポート、フレンドシップ事業などを通して、子どもとふれあう体験を積み、対応力を学びます。
- (3) 図画工作・美術教育の学修を通して、広く現代社会の現状や課題に関心をもち、社会に貢献する姿勢を学びます。

3

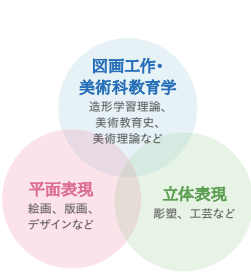
研修合宿や卒業研究/
 制作発表展などの
 活動を通して、
 企画力や運営力を培う

学生が主体的に動く活動として、専修メンバー全体が参加する研修合宿、学外施設での青丹影展、卒業研究/制作発表展、地域の子どもたちに向けた大学祭での「造形ひろば」、奈良県曾爾村での「わくわくアートプロジェクト」などの活動があります。これらの活動を通して、企画力や集団を動かす力を養います。

◆ 学びの領域

子どもを知り、教科内容の
 あり方を学ぶ3つの領域

平面・立体・教科教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深め、その成果を卒業論文・卒業制作にまとめます。



11月の大学祭での「造形ひろば」
 連日大入りでした。

小・中学校における児童、生徒の成長・発達を捉えた指導・支援をするとともに、
 造形的な力(表現力、鑑賞力)を着実に育むことのできる教員を養成します。

美術教育専修の授業スケジュール

【2回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		初等教科教育法(生活)		外国語コミュニケーション(英語)		絵画I (映像メディア表現を含む)
3・4時限		情報可能な関係性などの教育と世界遺産	初等教科教育法(理科)	教育社会学	論理と物理学	
5・6時限	教育方法・メディア(初等)	初等教科教育法(国語)		彫刻I	初等教科教育法(音楽)	
7・8時限	総合デザイン	中等教科教育法I(美術)		体育実技II	工芸III	
9・10時限				美術概論	デザインIII	



初等教科実践指導
 図画工作科の指導に必要なとなる基礎的な知識・技能について実践的に学びます。



青丹影展で作品を講評する狩野准教授

絵画I-III

絵画における人体の構造、構図、グラフィックソフトを用いた映像メディア表現などを学び、現代における造形表現の広がりをふまえた絵画表現を追究します。

Student's Voice
 在学生の声

「表現する楽しさを
 子供達に伝える」



美術教育専修3年生
 三井かおりさん 侯野友美さん 峯川まなつさん
 (奈良県立高円 高等学校出身) (京都府立亀岡 高等学校出身) (大阪府立大東 高等学校出身)

美術教育専修では、造形表現・図画工作・美術に関する知識や技能を高めるとともに、どのようにして幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校などの教育に生かせるかを学びます。

図画工作や美術の指導法や、絵画、彫刻、工芸、デザインといった実技など、幅広く学ぶことができます。他にも学生が主導で行う、絵画・立体・映像なんでもOKの作品展「青丹影(あおにさい)」や、研修旅行、そして大学生活の集大成となる卒業制作展と、美術を学ぶ機会が充実しています。ひとりひとりの表現を尊重した指導をしていただけるので、楽しく学ぶことができます。そして同時に、子ども達が様々な材料を使って自由に表現できるような方法について研究します。

先生との距離も近く、教えてほしい事はいつでも聞ける雰囲気です。先輩後輩の仲間も良く、和気あいあいとしています。皆さんも、ぜひ一緒に美術教育専修で学びましょう!

主な開講科目

幼児の造形表現 / 初等教科教育法(図画工作) / 中等教科教育法I-IV(美術) / デザインI [映像メディア表現を含む] / デザインII-III / デッサンI-II / 彫画 / 絵画I-III / 彫刻I-III / 実材 / 工芸I-IV / アジアの中の日本美術史

取得できる免許状

- ・[初等教育履修分野]小学校教諭一種等
- ・[中等教育履修分野]中学校教諭一種(美術)等

卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校美術科教諭が主な進路です。その他、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士、高校や大学の講師、公務員、デザイン関連会社、工房、芸能などの場で活躍しています。

教員および専門分野(平成29年5月1日現在)

- ・宇田 秀士教授 / 図画工作・美術科教育 題材開発に基づいた授業研究、近代日本美術教育実践史研究
- ・竹内 晋平准教授 / 図画工作・美術科教育 図画工作・美術科授業研究、生涯学習と美術に関する研究
- ・狩野 宏明准教授 / 絵画 絵画における空間表現の研究と制作、絵画教育への活用
- ・原山 健一准教授 / 工芸 陶による造形表現の研究、陶芸の教育現場での活用